

編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131

FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

【討議資料】

宇田川よしひで

緑豊かな街づくり

市議会ニュース

vol.67(2017年11月)

自主防災組織等の連携促進事業

地域防災力の向上を図るため、自主防災組織等の地域における防災組織間の連携に向けた取り組みを総務省から委託を受け実施・検証します。

事業概要

●事業の目的

災害対策本部と自主防災組織、協定関係機関との連携体制の強化を図り、情報交換及び共有体制を構築するものです。

●検証実験

被害状況に左右されない衛星携帯電話の利活用により、支援物資等の物流確保及び応急救護を円滑かつ効率的に行えるよう検証するものです。

事業期間及び費用

平成30年2月までで、衛星携帯電話6台の購入費等で、199万5千円の事業費となります(予算はすべて国庫支出金で賄われます)

「沢山の人の沢山の幸せを見たいから
今までもそしてこれからも頑張ります」



災害対策事業

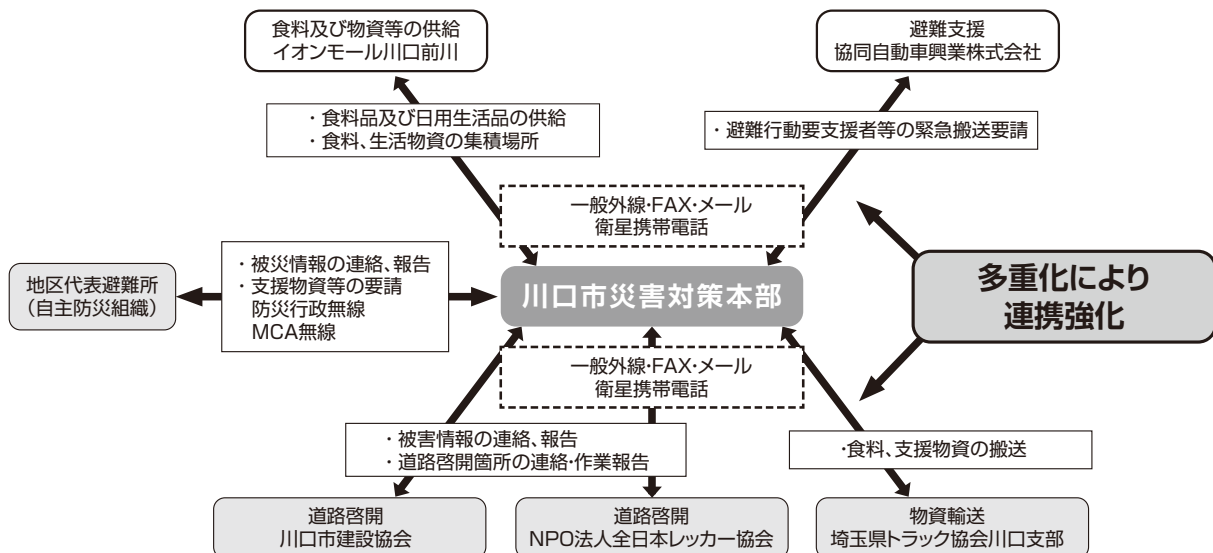
1. 自主防災組織との連絡体制の多重化による強靱化

目的

被害状況に影響されない衛星携帯電話を利活用することにより、災害対策本部と協定関係機関と地区代表避難所(自主防災組織)との連絡体制の多重化による連携強化を図り、情報交換及び共有体制を構築し、円滑かつ効率的な支援物資等の物流確保及び応急救護対策の強靱化を目的とする。

配置台数

衛星携帯電話6台



市立新高校中高一貫校に⇒2021年4月の開校を目指す

2018年4月に開校する川口市立高等学校に開校後、2021年4月をめどに、中高一貫校を創設する意向を9月議会の一般質問で奥ノ木市長が明らかにしました。

奥ノ木市長発言要旨

私は常日頃より、「川口の宝」である子供たちを、地元川口で大切に育てていきたいと考えており、平成28年4月に策定した「川口市教育大綱」の中にも基本目標として「子供がのびのびと学べる環境づくり」を掲げ、実現に向けて取り組んでおります。その中心となる役割を担うのは川口市立の学校であり、学校の教育力を向上させることが重要であります。

過日リアにおいて行われた川口市立高等学校の説明会には、2000人を超える中学生や保護者の参加があり、期待の大きさを実感するとともに、将来にわたり子供たちからあこがれを持って選ばれる高等学校にしなければならないと、思いを強くした次第です。

川口市立高等学校に中高一貫校を創設することにより、6年間を見通した本市独自の教育実践が可能となり、一人ひとりの個性をより重視し、能力を最大限に伸ばす教育を展開できると確信しております。

また、本市では毎年多くの小学校6年生が市外の私立や国立の中学校に進学している現状もあり、子供たちだけではなく保護者にも、教育に対する様々なニーズや期待があることも認識しております。

こうしたことから、中高一貫校の創設に向け、まずは検討を行う体制を整え、平成33年度4月開校を目途に、鋭意取り組んでまいり所存であります。

中高一貫校の現状

中間一貫校の目的は、6年間の学校生活の中で計画的・継続的な教育課程を展開することにより、生徒の個性や創造性を伸ばすことです。平成11年度から、中高の接続を前提に、学習指導要領の範囲を超えた特色あるカリキュラムを編成することができる特例が設けられ、平成24年4月1日現在で、国公私立あわせて441校にのぼる中高一貫校が設置されております。埼玉県では伊奈学園や浦和市立が中高一貫校となっております。

